

まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

臨時号

No. 159

平成30年(2018)
8月31日

主な 内容	第1回臨時会のあらまし	1
	予算決算委員会の審査報告	2
	各会派討論の内容	2
	意見書	4
	議会基本条例パブコメの報告	4

議会だよりはこのコード
からご覧いただけます。



平成30年 第1回臨時会のあらまし

●平成30年7月豪雨による被災者を支援

総額11億6055万円の平成30年度一般会計補正予算など 4議案を可決

舞鶴市議会では、平成30年第1回臨時会を去る8月9日(木)に開催し、市長から提案された平成30年度一般会計補正予算など4議案を審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、「平成30年7月豪雨に係る災害対策に関する意見書」を議員発議し、原案のとおり可決しました。

議決結果は
このコードから
ご覧いただけます。



市長から提案された議案は、第70号議案から第73議案までの4議案です。

今回の補正予算のうち、一般会計に係る補正は、平成30年7月豪雨により、家屋の浸水被害や土砂崩れなどによる被害に遭われた方々の生活再建を支援するための経費や、農業者や中小企業などの事業再建を支援する一方で、被災した道路、河川などの社会基盤を復旧するために必要な経費が措置されたものです。

また、国民健康保険や介護保険の特別会計補正予算は、平成30年7月豪雨による被災者の保険料、診療や介護サービスを受けた際の自己負担の減免を行い、被災者の支援に要する経費が措置されたものです。



西市民プラザ付近の浸水の様子

被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます

平成30年7月豪雨で被災されました皆さまに舞鶴市議会として心からお見舞い申し上げます。

本年7月に西日本を中心に襲った豪雨は、本市でも、人的被害をはじめ、土砂崩れ等による道路寸断、家屋や農地などへの浸水被害など、甚大な被害を受けました。被災地の復旧・復興に当たっては、ボランティアの方々にも多数ご支援いただき心から感謝申し上げます。

市議会といたしましても、被災されました皆様が一日も早くもとの生活を取り戻せるよう支援してまいります。



舞鶴市議会では、ICTの取り組みを進めており、第20期からタブレット等を活用し、ペーパーレス会議をすることとしております。

予算決算委員会の審査報告 討論

本会議において付託された議案4件を
予算決算委員会で審査しました。
8月9日の臨時会において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

予算決算委員会の主な審査内容

平成30年度一般会計

ふるさと応援寄附金

Q 歳入のふるさと応援寄附金とは？

A インターネットを活用し、ふるさと納税による災害支援をお願いしたところ、現時点で165件、285万5500円のご寄附をいただいた。口座振込等による支援を合わせると300万円を超えている。全て災害復旧のために活用したい。



救助艇で救助される様子

平成30年7月豪雨
災害被災者支援事業

Q 災害見舞金の配付状況は？

A 8月8日現在で、半壊2世帯、避難指示対象世帯21世帯、床上浸水233世帯の合計256世帯に配付を行った。

北近畿タンゴ鉄道
災害復旧事業費補助

Q 北近畿タンゴ鉄道の復旧のめどや対応は？

A 全線で多くの被害があった。現在、四所駅と東雲駅間で復旧作業を進めておられ、8月末の完了を見込んでいます。また、全線の安全確認を行い、被災箇所機能強化の必要性については、個々に検討されると伺っている。

平成30年7月豪雨
被災地支援経費

Q 災害時における旧軍助事業における旧軍



志高地域の浸水の様子

港市相互応援協定に係る支援経費の内容は？

A 呉市への災害復旧に必要な資機材や、職員派遣の旅費・レンタカーや燃料等の経費である。

被災者住宅応急借上経費

Q 上福井地区の復旧のめどや工事内容は？

A 土砂災害による応急仮設工事は完了し、今後、京都府による地質調査等を行い、恒久的な対策が行われる見込み。現時点では、調査未了のため完成時期は未確定である。

河川災害復旧事業費

Q 河川災害の国庫補助事業になる基準は？

A 河川については、深さが1メートル以上の河川であり、被災した時の水位が深さの5割以上、復旧費に60万円以上掛かること、一定以上の降雨量があることが条件となっている。それ以外は市の単費で対応する。

国民健康保険事業会計

Q 保険料減免対象者は？

A 保険料の減免対象世帯数は130世帯、医療機関窓口での一部負担金の減免対象者数は204人と見込んでいる。

介護保険事業会計

Q 保険料と利用者負担金の減免対象者数は？

A 保険料の減免対象者は251人、利用者負担の一部減免対象者は65人と見込んでいる。

さらなる災害見舞金対象者の拡充を

日本共産党議員団
小杉悦子



賛成する。西日本を中心に大きな被害をもたらした7月豪雨。本市の雨量でも、7月観測史上1位の数値を更新しており、甚大な被害が発生した。

上福井地区の避難指示世帯に「舞鶴市災害見舞金支給規程」を見直し、支給対象にすることを、被災者の願いに沿った柔軟な対応だ。504世帯の床上浸水被害へも、市の支援を求めます。

不要不急の事業の見直しを

5年間に3回災害救助法の適用を受け、大きな自然災害を受けている本市。今回の補正予算で、財政調整積立金より、3億4373万円の繰り入れで、30年度末の基金残高が7億2200万円となる見込みだ。今後、台風などの襲来が考えられることから、大変厳しい財政状況に間違った。今後の財政運営では、不要不急の赤れんがパーク再整備事業などの公共事業を見直すなど、市民本位の財政運営をすべきだ。

被災者が希望を持って前に進むことができ、支援を抜本的に強めることを求める。



山崩れでふさがれた道路 (岡田上地区)

※旧軍港市相互応援協定…旧軍港4市(横須賀市、呉市、佐世保市、舞鶴市)が、被災地の応急対策や復旧対策など円滑に進めるため、平成24年に締結したもの。



8月9日の臨時会において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討 論

治水・内水対策と
個別避難計画の推進を



創政クラブ議員団
肝付 隆 治

上程された全議案に
対し賛成し、討論する。
舞鶴市では災害に強い
まちづくりとして、さ
まざまな災害に対する
対応力の強化と市民の
危機管理意識の向上に
取り組んでいるが、災
害に強いまちとは、河
川の治水対策、内水
対策などのインフラ
整備を行うと同時に、
地域の人々が助け合
えるような関係が構
築されていることが
不可欠である。今回
の豪雨で明らかにな
った実態の一つに
災害弱者支援がある。
要支援者の個別（避
難）計画が未策定で、
これらの要支援者が

置き去りにされ災害に
巻き込まれる事例が多
数発生した。毎年のよ
うに災害に見舞われる
地域の防災事業を早急
に進めることと併せて、
市民の人命確保のため
の対策も必要であり、
特に、要支援者の個別
（避難）計画について
も推進することを提言
する。なお、今回の災
害において身命を賭し
てご尽力いただいた海
上自衛隊、海上保安庁、
京都府警、ボランティア
の方々に心よりお礼
を申し上げる。

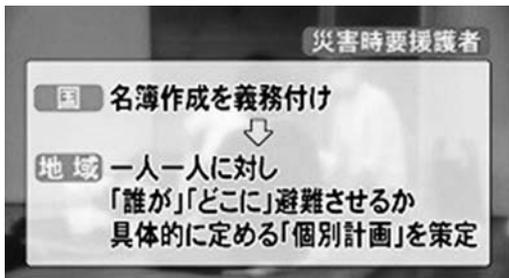
7月豪雨災害の
早期復旧を



公明党議員団
松田 弘 幸

第1回臨時会に上程
された全議案に賛成す
る。災害救助費の追加
予算による対応は早く、
休日を返上して、被災
者にお見舞金を届けて
いただき感謝する。7
月豪雨災害によって、
被害を受けた方への生
活再建のほか、避難指
示により自宅に戻るこ
とのできない住民の声
を聴く中で、素早く市
営住宅や民間の住宅借
り上げの対応をし
ていただき敬意を
表す。災害復旧事
業は、農業生産活
動の維持と農業経
営の安定を図るも
のである。被災し
た道路、河川など
早期に災害復旧す
るため、国・府と
の連携を図るとと
もに、農業関連で
は、査定前着工制

度の活用によって、災
害査定を待たずに応急
復旧工事に着手できる
よう支援をお願いする。
また、激甚災害の指定
によって、補助率のか
さ上げが適用される中、
さらなる負担軽減によ
る、細やかな対応をお
願いする。住民の安心
と安全の確保のために、
大変忙しい中ではある
が、重ねてのご尽力を
お願いする。



個別（避難）計画の作成

災害時要援護者
国 名簿作成を義務付け
↓
地域 一人一人に対し
「誰が」「どこに」避難させるか
具体的に定める「個別計画」を策定



豪雨で増水した伊佐津川の大和橋付近

市政・市民の迅速な
対応に感謝



新政クラブ議員団
和佐谷 寛

会派を代表し、全議
案に賛成し討論する。
初めに、この7月豪
雨でお亡くなりになっ
た方のご冥福をお祈り
するとともに、被災さ
れた多くの市民の皆さ
まの1日も早い元通り
の生活や、生産活動の
再開を願うものである。
第70号議案、今般の
災害のため府補助金、
繰入金、
市債で予
算措置を
し、災害
弔慰金、
災害見舞
金、災害
援護資金
貸付金に
充てる専



頻発した土砂崩れ災害の爪痕

決処分を承認する。
第71号議案、舞鶴市
一般会計補正予算の補
正額は、国府補助を含
めて約11億6千万円で、
市の一般財源は約3億
4千万円であり、主な
事業は、北近畿タンゴ
鉄道災害復旧や被災地
への職員派遣、農機具
等農業設備復旧支援、
中小企業災害復旧、道
路橋りょう・河川災害
復旧事業等である。
本市では今般の7月
豪雨に際し、いち早く
災害対策本部を立ち上
げ、市職員や消防団関
係者のスピーディな対
応、また自治会の皆さ
んの活躍に感謝する。

8月9日の臨時会において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討論 意見書、議会基本条例パブコメの報告

繰り返す水害から 農業を守る対策を

鶴翔会議員団
松岡茂長



今回の補正は7月豪雨により、被害に遭われた方々への復旧支援策であり賛成する。特に農業への支援では、毎年のように繰り返される「精神的ダメージ」が非常に大きく、加えて経済的な困難にもみまわれ、生産意欲が低下することへの配慮が必要だ。農業者が将来に希望を持って、安心して農業を続けていくよう、農地のかさ上げによる土地改良事業など、水害に強い農場づくり対策をより速やかに推進していく



水没したパイプハウス

ことが重要である。
避難情報の連携を
次に、このたびの豪雨では、事前に避難指示が出ていない中で大雨特別警報が発表された。過去に経験したことのない自然の猛威が、いかにか市民の命を守るかが大きな課題である。市としては、気象庁の防災気象情報と市が出す避難情報の連携の在り方をよく考え、適切な避難勧告や指示により、市民が速やかに避難所などへの避難行動がとれるよう、今後しっかりと対策を講じるべきである。

意見書

可決した意見書の要旨は次のとおりです。

▽平成30年7月豪雨に係る災害対策に関する意見書

- 本年7月に西日本を中心に襲った豪雨は、本市にも土砂災害等により、甚大な被害をもたらした。国におかれては、被災者に対する支援、災害の早期復旧及び災害に強い地域づくりに向け、次の事項について、必要な措置を講じられるよう、強く要望する。
- 1 由良川緊急治水対策の早期完成を図るとともに、内水被害の軽減に向けた対策の促進を図ること
 - 2 舞鶴西市街地の浸水被害解消に向けた総合的な治水対策を早期に講じるため、二級河川の整備や内水対策等に特段の財政措置を講じること
 - 3 上福井地区の土砂災害対策について、早期復旧に向け、必要な措置を講じること
 - 4 被災した道路、河川、農地・農業用施設、治山、林道等の早期復旧に必要な措置を講じること。特に主要幹線道路については、孤立化や物流機能等の支障が生じることがないように、災害に強い交通網の整備に向けた措置を講じること
 - 5 被災住民や事業者が、もとの生活や仕事を取り戻すために必要な各種支援制度について、十分な財政措置を講じること
 - 6 自治体の応急対応や復旧復興に要する経費について、特別交付税による財政支援等十分な財政措置を講じること

議会基本条例(素案)に対する ご意見ありがとうございました

市議会では、議会及び議員の責務を自覚しながら市民の負託に全力で応え、市民福祉の向上と市勢の発展に尽くすことを目的に「舞鶴市議会基本条例」の制定に取り組んでいます。その素案に対して、市議会パブリック・コメント手続制度(市民意見提出制度)に基づき、市民の皆さんから意見を募集した結果、3人から26件の提出がありました(募集期間…5月29日～6月28日)。意見を踏まえた同条例案は、9月定例会において審議される予定です。

対応の内訳

意見を踏まえて修正を行うもの	1件
意見の趣旨を具体的な取組に関する計画において検討するもの	3件
意見の趣旨がすでに盛り込まれているもの	4件
意見に対する市議会の考え方を説明し案どおりとして理解いただくもの	14件
案に対する間接的な意見に対し、市議会の考え方を説明するもの	4件

閲覧できます

舞鶴市議会基本条例(素案)や市議会パブリック・コメント手続制度の結果は、市ホームページ、市議会事務局、市政情報コーナーでご覧いただけます。

